

農林水産物等輸出促進緊急対策

【152,000千円】

対策のポイント

急激な円高の進行に対応するため、輸出に関心を有する農林漁業者等の取組を支援するとともに、日本の農林水産物等の品質をPRすることにより、地域産品の輸出拡大及び地域産業の振興に資する。

<平成20年における輸出額の現状>

農林水産物・食品の輸出額は平成19年は対前年比16.0%増加と堅調であったものの、平成20年になってからは、

- ① 急激な円高の進行、原油価格高騰の影響を受けた生産費や海上運賃等の値上がりに伴う価格競争力の低下等の輸出に係る環境の急激な悪化
- ② サブプライムローン問題に端を発した世界的な景気の後退等により輸出の伸びは鈍化し、平成20年1～10月期の輸出額は対前年同期比でわずか4.2%の増加にとどまっている。

政策目標

農林水産物・食品の輸出額を平成25年までに1兆円規模とする

<内容>

1. 活きた輸出情報ネットワーク構築事業

52,000千円

農林水産物・食品輸出促進研修会を開催し、農林漁業者等が国内外のバイヤーや輸出先駆者から活きた輸出情報を収集する機会を提供するとともに、展示・商談会を開催し農林漁業者等が生産した農林水産物等を国内外のバイヤーにアピールする機会を提供する。

2. 農林水産物等海外販路創出・拡大事業

100,000千円

海外の展示・商談会や常設店舗に合わせてフェアの開催等を行い、日本の農林水産物等の品質をPRする。

<委託先>

民間団体等

〔担当課：大臣官房国際部貿易関税チーム輸出促進室 電話 03-3502-3408〕



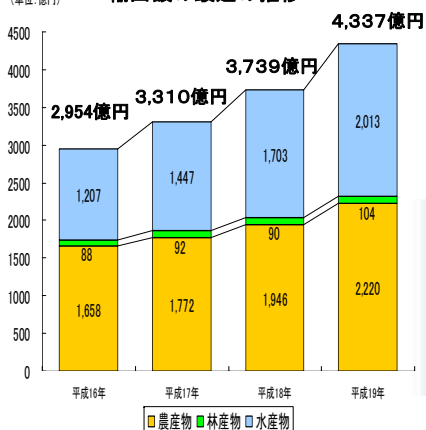
農林水産物等輸出促進緊急対策

～産地発世界へ～

現状

平成19年
4,337億円

○ 我が国の農林水産物等の輸出額の最近の推移



平成20年1月～10月の輸出額は、前年同期比4.2%増(3,614億円)と伸び率が鈍化。**円高の進行、原油価格の高騰等、輸出阻害要因がある中、目標達成のため新たな支援が必要。**

輸出に意欲ある産地、農林漁業者を支援するとともに、国内、海外の展示・商談会等に合わせて日本産農産物等の品質の良さを世界市場へPR

円高緊急対策

活かした輸出情報ネットワーク構築事業

農林水産物・食品輸出促進研修会の開催

○ 急激な円高の進行や、原油価格の高騰等に対応した新たなビジネスモデルの提案や海外富裕層の食品の安全性への関心の高まりなどの最新の海外市場情報など研修会を通じた各種情報提供を通じて、輸出に取り組む農林漁業者等を支援。

国内展示・商談会の開催

○ 国内展示・商談会を開催して、農林漁業者等が生産した品質の良い農林水産物等を国内外のバイヤーにアピールする機会を提供。



輸出促進研修会



国内商談活動

日本産食材の品質PR対策

農林水産物等海外販路創出・拡大事業

○ 海外の展示・商談会やアンテナショップにおけるフェアの開催等に合わせて、日本の農林水産物等の品質を生産者などの農林漁業者自らがPR。



日本食伝道師によるPR



日本食、日本食材の紹介



食の広報展示ブース

急激な円高の進行に対応するため、輸出に取り組む農林漁業者等を支援するとともに、日本産農林水産物等の品質の良さを海外に発信することにより、地域産品の輸出の拡大、地域産業の振興を図る。

平成25年

平成25年
1兆円規模

我が国農林水産物・食品の輸出額について1兆円規模を達成

強い農林水産業等を創出

地域経済の活性化

食料自給率向上に寄与

日本食文化の海外への情報発信